

秋季大講演會次第

期日 11月6日(土曜日)

會場 蠶絲會館(麴町區有樂町驛前)

學術講演 自午前 9.30—至正午
自午後 1.00—至午後 3.00

- | | | | |
|--|--------------|--------------------|--------------------|
| 1. 電氣界面攪亂の研究(第13報)澱粉粒子分散系の高温に於ける 電磁波吸収に就て | 京都帝國大學化學研究所 | 志上 方田 | 自 9.30 |
| | | 益靜 三男 氏 | |
| 2. 表面が磁性酸化鐵なる鐵陽極の製法 | 東京帝國學應用化學研究室 | 龜仲 山 | 直篤 人司 氏 |
| 3. 銅電胎版の製造に於ける電着構造に及ぼす添加劑の影響 | 内閣印刷局研究所 | 藤 平 | 正 一 氏 |
| 4. 稀硫酸中に於ける鉛負極に對する添加鹽の影響 | 早稻田大學應用化學科 | 富 井 | 六 造 氏 |
| (休 憩) | | | |
| 5. 我國の自轉車燈用乾電池 | 逓信省電氣試驗所第5部 | 牧藤 野 | 自 11.00 三清 太郎 氏 |
| 6. 空氣電池と酸化銅電池の特性比較 | 鐵道大臣官房研究所 | 中富 村田 | 靜平 雄三 氏 |
| 7. 蓄電池用隔離板の抵抗測定に就て | 逓信省電氣試驗所第5部 | 大中 下川 高 橋 | 利三 郎次 氏 辰修 輔 氏 |
| 8. 蓄電池の壽命と防沫油層に就て | 逓信省電氣試驗所第5部 | 根清 本水 | 忠次 郎 氏 勇 敏 氏 |
| (休 憩) | | | |
| 9. 弗化物浴法による MgO より Mg の製造に關する研究(第5報) 電解生成 Mg 中の Ba の存在に就て | 東北帝國大學化學工學科 | 伏齋 屋 佐 * 藤 木 | 義一 郎 氏 熊 三 氏 |
| 10. 苦汁より加里新回收法 | 東京工業大學電氣化學科 | 加 藤 川 | 與五 郎 氏 秀 雄 氏 |
| 11. 硫酸礬土に關する研究(其の1)硫酸礬土と硫酸との化合物に就て | 東京工業大學電氣化學科 | 舟山 木中 | 好右衛門 氏 義 彦 氏 |
| 12. 硫酸礬土の精製に關する研究(其の2) | 東京工業大學電氣化學科 | 舟 木 | 好右衛門 氏 |
| (休 憩) | | | |
| 13. 鐵含有硝子の電氣的性質 | 逓信省電氣試驗所第5部 | 宮 城 | 自 2.05 精 吉 氏 |
| 14. 炭素質物より灰分除去法 | 東京工業大學電氣化學科 | 加矢 藤 島 | 與五 郎 氏 亮 一 郎 氏 |
| 15. 高周波誘導電氣爐による酸化及還元作用 | 芝浦製作所研究所 | 中正 村 木 林 | 寬 三 氏 素郎 篤 氏 |
| (休 憩) | | | |

製品紹介講演

自午後 3.30 至 6.00

自 3.30

- | | | | |
|------------------------|---------------|----|-----|
| 1. 電気爐用大型人造黒鉛電極 | 東海電極製造株式会社 | 植田 | 勇二氏 |
| 2. 最近のエレマ及びエレマ製品 | 東海電極製造株式会社 | 角 | 健藏氏 |
| 3. 古河空 氣 電池 | 古河電気工業株式会社 | 樋口 | 正吉氏 |
| 4. マグネシウム乾電池 | 日本電業株式会社 | 黒柳 | 安二氏 |
| 5. 新合成洗滌劑 | 花王石鹼株式会社 長瀬商會 | 丸山 | 勉氏 |
| 休 憩 | | | |
| 6. 醋酸纖維素の製造及び其の製品よりの人絹 | 株式会社 鐵興社 | 藤野 | 茂氏 |
| 7. 無鐵心型低周波電気爐 | 三菱電機株式会社 | 田宮 | 利彦氏 |
| 8. 電気化學用水銀整流器 | 株式会社 芝浦製作所 | 黒河 | 原敏氏 |
| 9. 硫酸製造に於ける電気收塵装置 | 株式会社 日立製作所 | 荒川 | 信夫氏 |

一 般 來 聴 歡 迎

昭和 12 年 10 月

社団法人 電 氣 化 學 協 會

見 學 會 次 第

来る 11 月 7 日 (日曜日) 秋季大講演會の翌日を期し下記の通り銚子方面に於て見學會を催します。奮つて多數會員の御参加を希望致します。

参加申込期日 10 月 25 日迄に申込書を以て御申込み下さい。

費用 汽車賃、兩國一銚子往復 3 等 3 圓 50 錢也自辨のこと。

但見學地に於けるバス、船賃及び中餐、夕食は支部にて負擔します。

1. 集 合 11 月 7 日 (日曜日) 午前 8 時 30 分迄に兩國驛前集合、受付にて會員章及び食事券を渡します。兩國午前 8 時 58 分發、11 時 56 分銚子着。驛よりバスにてヤマサ醤油本社に到る。
2. ヤマサ醤油株式会社見學 午後 0 時 10 分より 1 時 20 分迄見學の後、渡船にて對岸の波崎に到る。
3. 日本油脂株式会社波崎工場見學 午後 2 時より 3 時迄見學の後、渡船及びバスにより犬吠岬に到る
4. 犬吠燈臺見學 午後 3 時 40 分より 4 時 30 分迄見學し、徒歩にて曉鷄館に到る。
5. 曉鷄館夕食 午後 5 時より 6 時 10 分迄夕食を喫し乍ら風景を觀賞し、バスにより銚子驛に到る。
6. 解 散 午後 6 時 40 分驛前にて解散。午後 6 時 55 分發にて兩國 9 時 41 分歸着

尙兩國銚子間總武本線發着時間は下記の通りです。

| | | | | | |
|---------|-------|---------|-----|---------|------|
| 午前 6.55 | 8.58 | 11.32 | 兩 國 | 午後 7.25 | 9.41 |
| 午前 9.44 | 11.56 | 午後 2.13 | 銚 子 | 午後 4.34 | 6.52 |

昭和 12 年 10 月

電氣化學協會關東支部

昭和 13 年 版

電 氣 化 學 年 鑑 (豫 告)

電氣化年鑑手帖は従來のものに多少改訂を加へて例年の通り一般會員に頒布致します。尙下記により豫約申込に應じます。

1. 申 込 期 日 11 月 15 日
2. 1 部 價 格 1 圓 (送料本會負擔)
3. 割 引 價 格 10 部以上 95 錢, 50 部以上 90 錢
100 部以上 85 錢, 200 部以上 80 錢

昭和 12 年 10 月

社団法人 電 氣 化 學 協 會